

大学が持つ価値を最大限活用した地域との連携事例～カーデザインの現場展～

○内島典子（北見工業大学 地域共同研究センター）

鞘師 守（北見工業大学 地域共同研究センター）

1. はじめに

北海道北見市は、道東のオホーツク総合振興局における中核都市である。オホーツク総合振興局は3市15町村からなり、総面積10,690km²を有し、人口は約32万人である¹⁾。北見市に位置する北見工業大学は道東唯一の国立大学ならびに工科系大学である。現在、地域に位置する大学は、教育・研究活動に加え、地域社会にとって価値ある大学として、より具体的な機能が強く求められている。北見工業大学の地域共同研究センターは、産学官連携を担うセンターとして活動を推進する中で、活動の使命の一つとして地域における価値ある活動に対する連携・貢献を掲げている。

平成21年夏、地域住民への『ものづくりへの魅力』訴求を目的とした「カーデザインの現場～歩みと今と技術力～展」（以下、カーデザインの現場展）を開催した。カーデザインの現場展は、これからの科学技術人材の育成や科学技術の発展において、地域住民が科学技術に対する親しみを持ち、身近に感じられるよう、関心や理解を促進させる役割を担う地域のマスメディア、科学館・美術館と北見工業大学が連携・主催した取組である。本報告では、この取組を例とし、大学でしかない機能とその価値、そしてそれらによる地域への貢献の大きさについて報告する。

2. 「カーデザインの現場～歩みと今と技術力～展」

カーデザインの現場展は平成21年7月9日から8月23日の46日間、北見工業大学と北見市の北網圏北見文化センターを会場に開催した。

連携体制 北見工業大学、北海道新聞北見支社、北見市の北網圏北見文化センターが主催となり、40機関との連携体制を構築した(表1)。

表1.カーデザインの現場展実施連携体制

	立場	機関	役割
主 催	管理法人	北見市美術展実行委員会	北見市組織としての美術館管理
	自治体	北網圏北見文化センター	美術館としての主体
	大学	国立大学法人 北見工業大学	企画実行渉外、展示スペース提供等
後 援	産業界	北海道新聞北見支社	広報
	産業界	読売新聞北見支局、朝日新聞北海道支社、毎日新聞報道部北見、NHK北見放送局、HBC北見放送局、STV北見放送局、IHB	広報
	国・自治体	経済産業省北海道経済産業局、北海道、北見市、北見市教育委員会、北海道立北見高等技術専門学校	企画・実行支援
	その他	(社)日本機会学会北海道支部	展示コンテンツ提供、講師派遣
特別協力	産業界	モノづくり推進会議 (社)自動車技術会	企画・実行支援 著名演者による講演会の開催
	産業界	トヨタ自動車㈱、日産自動車㈱、本田技研工業㈱	企画・実行支援
	産業界	ネットトヨタオホーツク圏、北見日産㈱、Honda Cars北見	大型展示、大型イベント、コンテンツ提供、講演、教室・講習講師等
協 力	産業界	マツダ㈱、三菱自動車工業㈱、スズキ㈱、日野自動車㈱、日野自動車㈱、いすゞ自動車㈱、北見三菱自動車㈱、柳川川ダンプモーター北見、北海道マツダ販売㈱、北海道スズキ㈱北見西店	展示、コンテンツ提供
	国・自治体	北海道教育庁網走教育局	展示、コンテンツ提供
	その他	オホーツク地域環境教育研究会、北見少年少女発明クラブ、ソーラーエナジー実行委員会、北見工業大学生活協同組合、(社)北見自動車販売店協会、㈱オート車輪サービス、小岩辰男氏	企画・実行支援、講師

取組内容 次代を担う若者たちにもものづくりへの興味・関心を醸成するため、子供から大人までが、楽しみながらものづくりへの魅力を感じてもらえる幅広い内容の事業を展開した(表2)。

表2.カーデザインの現場展実施事業

種類	目的	内容
デザイン	モノに対する用途やユーザーの要求を満足させるデザイン(設計)を理解	・車ができあがるまでの過程(アイデアスケッチ、デザインコンセプト、1/4スケールプラスチック模型、実寸大粘土模型) ・車の歴史
技術	モノの性能や機能など、デザイン(設計)を実現するための技術を理解	・車およびエンジンの中身展示 ・将来の車技術展示(安全安心技術、環境技術)
講演会	高校生以上を対象とし、以下について理解 ・日本産業界の強さ、技術力 ・世界最先端の研究・開発技術の理解 ・ものづくりにおけるデザインの価値 ・女性へのものづくりへの関心度向上	・自動車メーカー経営者：世界の技術を取り入れる努力、モノを生み出す苦悩 ・自動車メーカー開発者：次代に向けた環境性能や安全性向上を目指す技術 ・自動車メーカーデザイナー：多くのアイデアから一つのデザインが生まれる ・大学研究者：美と技術の融合によりモノが生まれる ・女性の専門職(学芸員、技能者、技術者)：女性ならではのものづくりへの視点
教室	小中学生を対象とし、環境問題と環境技術について理解	・燃料電池車工作教室(ミニカーによる燃料電池車工作、実車試乗体験) ・オホーツク工作教室(ミニカー工作)
講習	一般を対象とし、自分達が行える環境への取組について理解	・EV運転講習(発進、巡航、減速・停止時のアクセル、ブレーキ操作を学ぶ)
研究紹介	子供から大人までを対象とし、将来の科学技術への興味増進	・北見工業大学が取り組む将来の車技術に活かすことのできる研究紹介：燃料電池、バイオ燃料、バッテリー、デザインエンジン、エンジンブレイト、オトコニス
試乗	一般を対象とし、環境問題と環境技術について理解	・EV試乗会(プラグインEV車、ハイブリッド車)

以上、大学がもたらす地域への貢献、地域における大学として、大学ならではの機能とその役割について、「カーデザインの現場展」上記表1.に示す大学の役割を例に詳細に報告する。

1) 北海道オホーツク総合振興局 オホーツク地域の概要 <http://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp/gaiyo/index.html>